

令和2年度 子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）の文部科学大臣表彰

令和2年度「子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰」において、本県から次の学校、図書館、団体が被表彰者に決定しました。

伊達市立梁川小学校

＜子どもが足を運びたくなる魅力ある学校図書館の運営＞

○学習センターとしての機能充実

- ・読書活動年間指導計画の作成、図書館利用の指導計画への位置付け、図書館オリエンテーション

の実施、学校司書の授業支援、レファレンスに応じた市立図書館蔵書の活用。

○読書センターとしての機能充実

- ・読み聞かせ、図書館だよりの発行、読書習慣の取組、学年毎のブックリスト選定。

○司書教諭と学校司書の連携による取組

- ・「子どもが足を運びたくなる学校図書館」を目指した明るく楽しい館内装飾、おすすめの本の展示の工夫。

○市立図書館との連携

- ・学校司書と市立図書館との「情報共有会議」による定期的な情報交換。

○ボランティアの活用

- ・地域ボランティアによる「読み聞かせと図書館整備」

○図書貸出の促進

- ・読書スタンプラリーや図書館オリジナルしおりのプレゼントの実施。

川俣町立富田小学校

＜読書の習慣化を図る取組＞

○読み聞かせサークルとの連携

- ・地域の読み聞かせサークルと連携し、平成12年度から「おはなし会」や「講演」を実施。
- ・朝の時間の読み聞かせの実施。（月2回）

○工夫した読書活動の設定

- ・全校読書週間（4月末）、読書月間（11月）において、教師の推薦図書を紹介、輪番による読み聞かせの実施。
- ・「読書ビンゴカード」の活用により、様々なジャンルの本に触れる機会を意図的に設定。

○家庭と連携した取組

- ・学校での朝の読書タイムとともに、「親子読書の日」（毎月第三土曜日・日曜日）など本を読む機会を継続的に設定。家庭と連携した読書意欲の向上のための読書カードの活用。

○読書環境整備

- ・各学年の多目的スペースへの配架、学校司書補による読みたくなる学校図書館環境の整備。

○学校図書館の活用による学習活動の充実

- ・川俣町の「読み聞かせ・読書学習プラン」をもとに、学校図書館を活用した授業への取組による学校図書館の活性化。

○図書委員会活動の推進

- ・図書委員会が「多読賞」を設け、学期毎に表彰。
- ・図書委員が選んだ本の読み聞かせやブックトークの実施。

郡山市立明健中学校

＜主体的な学びにつなげるための学校図書館と図書委員会との連携＞

- 授業で使いたい本のリサーチ
 - ・購入図書選定のため校内図書選定委員会を組織。図書館の蔵書充足率を加味した蔵書の充実。
- 図書委員会による「小中連携 読み聞かせ交流活動」
 - ・明健小学校と校舎が一体となっているという特色を生かし、昼休み時間を活用した「読み聞かせ」の実施。（月2回程度）
- 新聞活用の日常化（新聞スクラップ）
 - ・全国紙1紙、地方紙2紙（小学校1紙、中学校1紙）の新聞記事を、図書委員会の生徒によりスクラップし活用。
- 教科及び委員会活動における小中連携
 - ・小中学校教職員が義務教育9年間の教育活動を理解した上で、9年間の系統性を踏まえた図書館教育を実践。（小・中学校相互の図書館活用）
- 「明健ビブリオバトル」の開催
 - ・福島県教育委員会主催「ビブリオバトル福島県大会」への参加のため図書委員会主催の「ビブリオバトル」を実施。
- 「POPコンテスト」の開催
 - ・図書委員会でPOPを募集し、生徒の本に対する興味・関心を高め優秀作品を文化祭で展示。
- 「明健文学賞」の開催
 - ・生徒の思いから、今年度初めて短編小説を募集して開催。
- タブレットコーナー活用による情報の整理と思考の深化
 - ・情報活用能力の育成を目指し、タブレットコーナーを図書室に設置。
- 進路指導での活用（キャリア教育、大学パンフレット等）
 - ・図書館に「進学情報Box」を設置し、高等学校調べ、職業調べに関する資料を置き、キャリア教育などに活用。
- 文化祭（明輝祭）での展示
 - ・委員会活動として、開校当時のベストセラー調査、中学校図書館のイメージキャラクターの募集などを行い、文化祭にて展示。

泉崎図書館

- 「おはなし会」「英語によるおはなし会」の実施
 - ・親子で来館する機会の提供。ALTとの連携による異文化理解。
- 「お楽しみ映画会」の実施
 - ・児童の長期休業を利用して実施。原作の紹介による図書利用促進。
- 「特別企画」の実施
 - ・講師やボランティアの協力により特別企画事業を実施、施設利用の促進。
- 「親子読書コーナー」の設置
 - ・親子で選書や読書ができるよう、絵本の書架の上部に子育て関連本を配置。
- こども図書館だより発行
 - ・子どもが興味をもてるようクイズ等を掲載し、図書館来館を促進。学校用も作成。
- 「学校での読み聞かせ」の実施
 - ・季節や年齢に応じた内容の本の選書。小学校全学年を対象にした読み聞かせの実施。各学校週2回実施。給食時の放送にも導入。
- 「学校貸出支援」の取組
 - ・村内の各学校、各クラスに1箱20～40冊（学級の人数に応じて）学級文庫の貸出を実施。
- ブックスタート
 - ・乳幼児（6～8か月）健診時に絵本を贈呈。読み聞かせ会を実施し、親による読み聞かせを推奨。図書館利用登録の促進。
- 「図書館ネットワーク」の構築
 - ・図書館・学校図書室（小学校2・中学校1）の蔵書を図書館で一元管理化。図書システムの導入によって貸出・返却作業の大幅省略が可能となり、図書室利用が飛躍的に向上。各施設にない図書の相互貸借も可能。

朗読劇サークル アグリーダックス（会津若松市）

- 幅広い「朗読劇公演」の実施
 - ・会津若松市民による自主サークルや公民館事業での公演活動からスタート。幼・小・中・高校・一般へと活動を広げ、これまでの活動回数は245回に及ぶ。（令和元年10月現在）
- 復興支援のための学校訪問
 - ・震災後、浜通り地区の学校等を訪問し復興支援活動を実施。
- 「研修会」での実演披露等
 - ・学校、社会教育団体等での研修会における公演活動を実施。
 - ・「令和元年度読書活動支援者育成事業会津研修会」での実践発表。
- 「県立葵高等学校」での公演活動
 - ・結成直後より、学校司書と連携し「図書ライブラリー事業」として毎年実施。生徒のキャリア教育の一環として連携。

受賞おめでとうございます。